

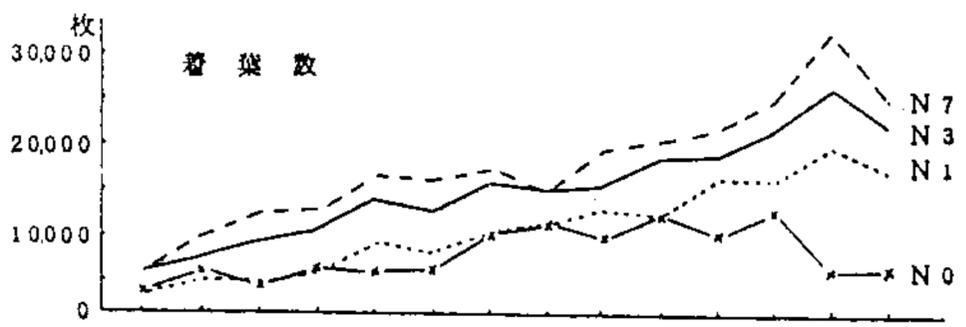
課題名

温州みかんの窒素施用量と着葉、着花数の変化について

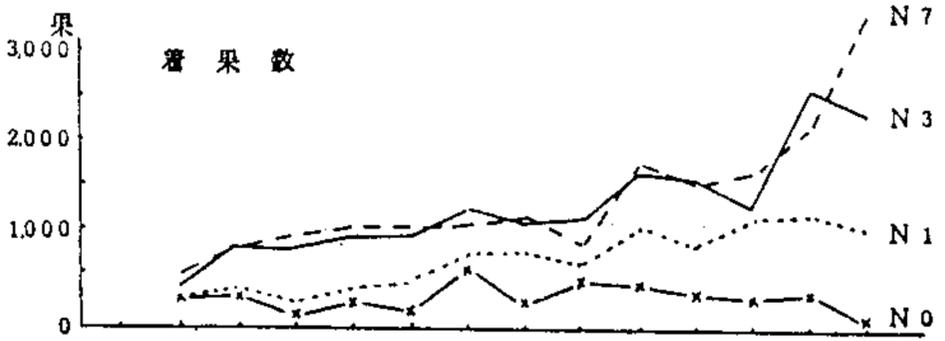
成果の要約

- (1) 窒素施用量が少ないと葉数の増加が少なく、施用量が多くても密植状態になると葉数の増加は少なかった。
- (2) 着果数は、施用量が少ないと少なくなり、また年次による変動も大きい。
- (3) 高い葉果比の出現する回数は窒素施用量が少ないほど多くなり、適正な摘果が困難となる。

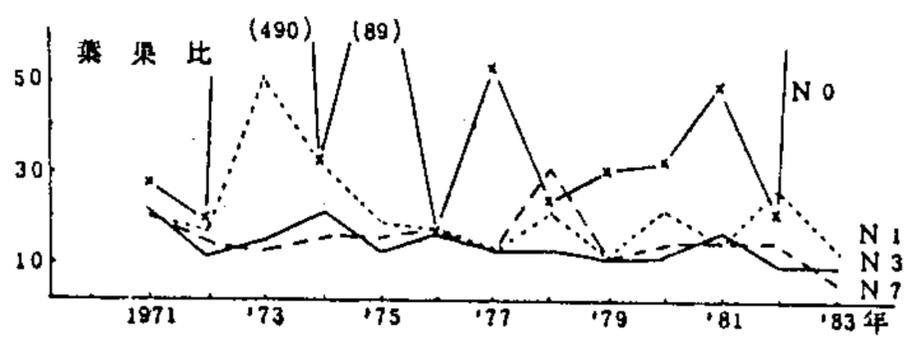
成



績



概



第1図 窒素施用量の違いと着葉数、着花数、葉果比の経年変化

第1表 窒素施用量と葉果比の出現回数(1971~1983)

要

葉果比	N 0	N 1	N 2	N 3	N 5	N 7
25~	9	3	3	0	0	1
20~25	2	3	3	2	2	1
15~20	2	5	1	2	5	5
10~15	0	2	5	8	5	5
~10	0	0	1	1	1	1

その他

果樹試験場